



認知症の人の声（想い）に沿った支援の 事例報告及び情報交換会 報告書

令和3年2月
発行 麻生区役所地域支援課

目 次

1 内容	1
2 あさおオレンジプロジェクト及び情報交換会で集約された声	6
3 今後に向けて	14

参考資料

認知症に関する情報	15
認知症の人の声「暮らしやすいまち」	16
認知症の人の声「やりたい事」	17
認知症の人の声「日常生活の工夫」	18

1 令和2年度 認知症の人の声（想い）に沿った支援の事例報告及び情報交換会 内容

<目的>

認知症施策推進大綱では「認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら施策を推進する」ことが基本的な考え方となっている。

認知症の人が希望を持って日常生活を過ごすために、本人が「活躍できる事」「やりたい事」「元気が出る事」につながる支援が望まれている。

認知症と診断された人は介護サービスを利用しており、サービスの質がQOLに大きく影響することから、介護事業所の関係者と認知症の人の声（想い）を共有し、より良い支援に結び付けられるようにする。

また、情報交換会で出された取組は「『認知症にやさしいまちあさお』の実現に向けた取組」として区民や関係者に周知し、理解を深めてもらう。

<日時・場所>

令和2年10月26日（月）午後6時30分～8時 麻生区役所 第1会議室

<対象者>

居宅介護支援事業所・小規模多機能事業所・認知症対応型共同生活介護事業所
（共催）あさおオレンジプロジェクト委員・麻生区内地域包括支援センター

<実施内容>

- （1）認知症施策推進大綱の主旨及び認知症の人の声の冊子の確認
- （2）居宅介護支援事業所・小規模多機能事業所から業務内容の報告
- （3）認知症の人の声（想い）に沿った支援の事例に関する情報共有
- （4）事例を集約して資料にまとめ、区民や関係機関に周知する。

<対象施設>

居宅介護支援事業所 44か所

小規模多機能事業所 6か所

認知症対応型共同生活介護事業所 19か所

合計69か所に通知を配布し、10か所から申し込みがあり、当日の参加は9か所、16名でした。

<参加施設>

片平地域包括支援センター
GTLケアプランセンター新百合ヶ丘
ケアセンター介護福祉士会
たま日吉台病院 居宅介護支援事業所
生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコーポぬくもり麻生
新百合ヶ丘居宅介護支援事業所さくらそう
ツクイ川崎麻生
新百合ヶ丘 たわら薬局
栗木台居宅介護支援事業所
小規模多機能施設あさお
みのりの家 麻生
ケアプランソーシャル
セントケア神奈川株式会社

(共催・あさおオレンジプロジェクト委員)

高石地域包括支援センター
百合丘地域包括支援センター
川崎市認知症ネットワーク

<認知症の声の聴取に参加した施設>

新百合ヶ丘居宅介護支援事業所さくらそう
ケアセンター介護福祉士会
みのりの家 麻生
栗木台居宅介護支援事業所
GTLケアプランセンター新百合ヶ丘
パナソニックエイジフリーケアセンター麻生デイサービス
ヒューマンライフケア新百合ヶ丘グループホーム
ヒューマンライフケア麻生グループホーム
ヒューマンライフケア麻生グループホーム 2号館
みんなの家・川崎新百合ヶ丘
カーサしんゆりフランシア
ナーシングホーム岡上
訪問看護ステーションゆらりん
えみの里
麻生グループホーム
かわさき記念病院

特別養護老人ホーム金井原苑
桃の木亭 ふるさわかないばら苑
地域福祉センター金井原苑
かないばら苑 訪看
結ケアセンターあさおD S

栗木台地域包括支援センター
百合丘地域包括支援センター

【当日の様子】



<事業所においてなされた認知症の声に配慮した取組>

各事業所で「認知症の人の声への対応」について事例を話し合い、以下の内容が出されました。

【事例① その人の持てる力を引き出す取組】

- ・「歌を歌うのが好き」・「絵を描くことが好き」など、好きなことをデイサービスに取り入れた。
- ・詩を書くのが好きな人の詩集を作って配布し、周りの人にも知ってもらった。
- ・認知症の人は記憶が衰えてはいるが、人格は変わっていないので、役割を持ってもらい、足りない所をサポートするようにした。

【事例② ケアプランに活かした取組】

- ・夫婦共に認知症で介護サービスを受け入れてもらえない状況だった。現状を続けられるうちは続けてもらい、SOSが出た時に対応できるよう、日頃から関係づくりをすると共に、本人達の好きな場所・事を見つけていきながら、民生委員の見守りを継続していく。
- ・「お風呂に入るのが面倒」という方には、ケアマネージャーがお風呂に入る時間が何時なのかを見極めて、その方に合った時間にサービスを組み入れた。
- ・「犬と暮らしたい」という希望があり、犬と暮らす1日の流れから介護保険のサービスを組み立てた。支援者側は当初、犬を飼うのは難しいと思ったが、本人が支えられる側になるのを嫌がり、犬がいることによって支える側になることができた。

【事例③ 地域の人とのつながりに関する取組】

- ・認知症当事者から話を聞きたい、という声に対して当事者同士で話す場を作った。少し早く認知症になった先輩の話聞くために、認知症のグループを紹介した。
- ・昨年の認知症講演会で当事者の方から話を聞いて、「自分は認知症だ」とカミングアウトしたことで、周りの方からサポートを受けられるようになった。地域のサロンの主催者だった方で、今は周りの方のサポートを受けながら参加する側として、引き続きサロンに関わっている。
- ・美容院に行きたい、という声に対して近所の美容院が出張してくれた。

<研修会参加者のアンケート結果>

【事業所内で活用したい内容(抜粋)】

- ・本人の気持ち・思いに敏感になればと感じた。
- ・自尊心を傷つけずその人の役割を見つける。
- ・趣味を続けたり、本人の得意とするところを見つける。
- ・認知症になっても本人のやりたい事があり、それを支援することで本人の自信につながり、良い方向に向かうことができることがわかった。
- ・「認知症の人だから」特別な対応を必要としているのではなく、丁寧に対応することは全ての人に必要で、それが皆で暮らしやすい社会になると感じた。

【認知症の人が暮らしやすくなるために必要な取組(抜粋)】

- ・認知症の人の声(思い)を市民に周知し、理解を深めてもらう。
- ・本人が集まって話ができる場面を増やす。
- ・本人のニーズが叶えられる。(働ける場所など)

(その他)

事業所相互の情報交換については、ほぼ全事業所が「必要」と回答。

2 あさおオレンジプロジェクト及び情報交換会で集約された声

テーマ「どのようなまちになったら暮らしやすいか」

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
R2.9.16	PMお茶の時間	近所の方とお互い 顔のみえる地域	同じフロアでお茶会の開催をしている
		挨拶が元気な地域	
		買物が困難、バスがあると便利	
R2.9.17	PMお茶の時間	声かけしやすい地域	
		コミュニティバスなど動いている地域	
R2.9.16		助け合って暮らせる町になってほしい	
R2.9.16		近くに温泉があると良い	
R2.9.18	フロアにて聞き取り	お店やさんが来てくれると助かります	お買い物レクを企画しています (コロナ禍で現在は困難)
いつでも	外	歩くエスカレーター(歩道)があれば良い	
週1回	外	ボランティアがいっぱいいる町になってほしい	
毎日	外	車がびゅんびゅん走っていない方が良い	
いつでも	外	歩けるところに図書館がほしい	
		認知症への理解が促進する	オレンジリング、キャラバンメイトの普及
		認知症の人への偏見が無くなる	ランとも
		困ったときに(徘徊など)近所の人々が助けてくれる	認知症をオープンにする
		認知症の人が利用しやすいお店(スーパー)がある	
		認知症でも働ける場所がある	
毎日	老人センター、公民館など	気軽に通うことのできるダンスや体操等の教室	気軽に通うことができ友人もできる
毎日	家の近く	いつでも行けて、お茶や話ができる場所	困ったとき、寂しい時に行ける場所がある
毎日	自宅	誰かが様子を見に来てくれる。頼れる人がいる	一人ではないと安心できる
R2.8.29	小多機フロア	歩きやすい道が整っている	安心して外出できる街
		歩道と車道がはっきりしている	安心して外出できる街
		信号がちゃんとある	安心して外出できる街
R2.8.18	デイフロアー	昔に比べると道路の段差が少なくなったが、もっと少なくしてほしい	
R2.8.18	デイフロアー	物価や賃料が高い(他の地域に比べて)安くしてほしい	
R2.8.18	デイフロアー	もっと交通の便を良くしてほしい	

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
10年以上前		認知症当事者が散歩(一人での)から戻ってきた時、自分の家がわかる様に、(主に夜間)玄関ドアに目印としてピンク色の造花をつけました。これ以来、迷う事なく自分の部屋に戻れる様になりました。	
R2.9.18	朝のお茶の時間	他人にまかせず、できることは自分でする	⇒料理を持ち寄りバーベキュー実施、自分の庭を利用
	朝のお茶の時間	地域の人とつながる工夫	
R2.9.1	自宅	必要なものは起きてすぐ見える様にしている(TVのリモコン、エアコンのリモコン、薬カレンダー、etc…)	
R2.9.9	自宅	・その日あった出来事や思い出した事を日誌に書き留めている。	
	自宅	・物がどこに入れたか分からなくなる様に、引き出しに見出しシールを貼っている。	
毎日	居室	漢字の書き取りをしている	
毎日	居室、食堂	字や数字を書いている	
毎日	廊下	人にぶつからないように気を付けている(車イス)	
毎日	居室	取りやすいところ(高さ)に物を置いている	
毎日	廊下	なるべく自分の力で車イスをこいでいる	
毎日	事務所、相談室	仕事(職員の手伝い)をするようにしている	
毎日	苑内	散歩している	
随時	苑内	食堂がうるさい時には別の場所で過ごしている ⇒ ストレスなく過ごせる	
毎日	食堂、居室	TVを観て学んでいる	
毎日	居室	新聞を読んでいる ⇒ 世間から切り離されないように	
		ガスではなくIH	
		自宅内インフラの整備、水が自動で止まる等(自動化できるものはする)	←設備費用に国から助成が出る
随時	自宅にて	家にある物の使い方(手順)が分からない	洗濯機や床暖房、インターホン等に手順通り番号を振っている
必用時	自宅で	出かける前に洗濯機の設定をして忘れないようにする	家事が継続してできるように
必用時	外出先で	家の中にももらず外に出かけ友人に会う	人と会うことで刺激になる
毎日	自宅で	予定はカレンダーに書く。新聞や電波時計で日付を確認する	今日が何日か、曜日もわからない。忘れないように書き留めておかないと。
R2.8.10	デイフロアー	怪我をしなように気をつけている	
R2.8.10	デイフロアー	火の始末・戸締りを気をつけている	
R2.8.18	デイフロアー	食生活にきをつけている 野菜を多く摂る	
R2.8.18	デイフロアー	外出するように気をつけて歩くようにしている	
R2.8.18	デイフロアー	週に2~3回離れて住む家族に連絡をして近況報告する	
R2.8.18	デイフロアー	ホームセキュリティに登録した	
R2.8.18	デイフロアー	安心ネットワークに登録した	
R2.8.28	当事者の集まる会にて	すぐ忘れちゃうからずらしていけないといけない(生活や考え方など)	

テーマ「本人がやりたいこと」

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
	ショートステイ	手芸が大好き	小物作りに参加し、ショートステイに行くことが楽しくなった
	デイケア	手先が器用	書道、陶芸に参加
	自宅	アイロンがけが得意(服飾関係の学校卒)	家族分までアイロンがけをする(コンセントや電源等は家族がつきっきりになる)
		キレイな洋服を着たい	何枚も洋服を選んで5/Wデイに通う(季節に合わないことが多いので見守り必要)
R2.9.28	訪問時	自分がいないと体操など始まらない。(リーダー的性格の方)	〇〇さんがいらっしゃるので助かっていますね。お給料が欲しいくらいですね。
R2.9.25		お彼岸だから“おはぎ”が食べたい。“おはぎ”はよく作っていたから、自分で作りたい。	職員が見守り・介助しながら一緒におはぎ作りを行った。
R2.10.2	グループホーム	“中秋の名月”の詩を書いたから見てもらいたい。	音読し、皆さんに聞いてもらう機会を作った。
R2.10.6	グループホーム	友人に手紙を書いたから出してもらいたい。	預かり、切手を貼り、ポストに投函した。
R2.10.12	グループホーム	毎日歩いていたから、外に行きたい。	職員と一緒に散歩に出掛けた。
R2.10.13	グループホーム	今日は娘の誕生日だから電話したい。	職員が電話を掛け、取り継いだ。
R2.10.13	グループホーム	お天気が良いから、お布団を干したい。	ベランダまで布団を運ぶのを手伝い、干してもらった。
R2.10.13	グループホーム	淋しいし、不安だから話を聞いてもらいたい。	傾聴し、その後得意な調理を一緒に行い、“ここに居て大丈夫なんだ”と思ってもらえるよう支援した。
2019(R1).5	自宅	直接見て買い物が見たい。	スーパーの送迎サービスを紹介。一人で買物に行くことが出来た。
R2.10.19	住宅型有料老人ホーム	韓流スターが好きだった	ビデオを見てもらい、気分を落ち着かせてもらった
R2.10.19	住宅型有料老人ホーム	かつての趣味(書道、茶道)をもう一度やってみたい	クラブ活動に参加してもらう
R2.10.19	住宅型有料老人ホーム	歌うことが大好き	施設の合唱コンクールでソロパートを担当し、歌ってもらった
R2.10.19	住宅型有料老人ホーム	庭いじりが好き	施設のバルコニーで園芸を楽しんでもらっている
R2.10～	デイの昼食後	何かお手伝いをしたい	食事の名前の札を集めていただいている
R1.10	体操の時間	体を動かしたい(ジムに通っていた)	エアロビクスに参加し生き生きした
R2.9	アクティビティ	踊りを教えたい(日舞の師範)	カラオケの後フロアで盆踊りを皆で踊った
R2.9.27	夕食時(白米提供)	「私はパンが食べたい」	近いうちにパン食を提供する旨を伝えた。
R2.9.27	就寝前	「父に会いたいから家に帰りたい」	ホームでお願いしたい仕事があることを伝えた。
R2.9.28	朝食後	「何か仕事を持ってきて！」	豆の選別をお願いする。
R2.10.5	フロアにて	「知り合いに会いたいから外に出して」	コロナウイルスが流行していることを伝える。
R2.10.5	夜間居室にて	「娘に会いたい。電話して」	娘様に電話する。
R2.10.8	フロアにて	「(色鉛筆をけずるために)ナイフを貸して！」	鉛筆けずりを渡す。

テーマ「本人がやりたいこと」

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
R2.10.8	就寝前の居室誘導時	「お兄ちゃんのお尻について行く。」	
		早く元気になって、ここを卒業したい	
		出来る事なら何でも手伝うよ	
		息子が帰ってくるから、ご飯作らなきゃ。	
R2.9.16	荷物置き場	妻が退院明けて自宅にいるから帰ってもいい？	
R2.9.25	フロア	あの、体操教室に行きたいんだけど…？	
R2.9.25	フロア	お腹空いたから何かお菓子でも頂けます？	
R2.9.26	フロア	息子が家にいるから帰る！	
R2.9.26	浴室内	これから一緒に釣りに行くべ！	
R2.9.26	フロア	〇〇さんとデイサービス一緒に行くんだよねー！	
R2.9.30	フロア	孫の世話しないといけないから帰らせてくれない？	
R2.9.30	フロア	野球しに行くから一緒に行く？	
R2.10.2	フロアにて	「お風呂に入りたい」「銭湯がいい」	
R2.5	ホーム	お花が好きなので育ててみたい	お花を購入、プランター栽培をし水やりをお願いする
H30	麻生区民会館	コンサート参加	会場にてみんなで合唱する
R2.9.18	フロアにて聞取り	四季折々な花、植物を眺めながら散歩がしたい	秋の散歩日和に実施していく予定です。
R2.9.18		気軽にカラオケなどを楽しみたい	
R2.9.18		犬や猫と触れ合いたい	
R2.9.19		プロの歌手の歌を生で聞きたい	
	入居者同士の口論の後楽しく思っていないとき	高いお金払っているんだもの、楽しく笑ってたい	
	やることない時	私、だめ人間になるから、手伝うから言って下さい	
	手編みのセーターをほめると	私、編み物が好きなの、皆さんに編んであげたい	
毎日	どこでも	おいしいものが食べたい	
時々	苑内	60～70代の異性の話し相手がほしい	
月1回	外	喫茶店で音楽を聴きながらお茶を飲みたい	
月1回	外	お酒を飲みに行けるようにしてほしい	
毎日	外	子供の家にすぐに行けるようにしてほしい	
R2.9.7	対面による相談対応にて	友人に認知症であることを知られたくない	
R2.9.7	対面による相談対応にて	家にいても仕方がない。病気だっていったってまだ働けると思う。働いて女房にお小遣いでもあげたいし、自転車を買いたい	
		認知症を発症する前に「もし自分が認知症になったらどんなケアを受けたいか、そういう生活をしたいか」事前に考える機会があると良い。エンディングノートのように紙に残しておけると尚良し！	そのようなことを気軽に話せる機会の提供
		MCIから軽度認知症の人が働ける場所があると良い(社会貢献するという意味で)	
		通販、宅急便、スーパーの宅配サービス等から情報提供を受けられると良い	

テーマ「支援者の声」

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
随時	外出先(買物)	・買いたい物を上手く伝えられない ・購入の仕方が分からなくなることがある	買物先の店長や従業員が顔を 知っていてくれて、声掛けしてく れ買いたいものや購入の仕方 を教えてくれる
R2.8.31		介護者が子であり、他に兄弟がいない場合、初期は 介護申請も行っておらず、サービスを利用していない ため介護者が抱え込みやすい。ケアマネージャーが いない時期は情報も入りづらいため	その時期にネットで等で認知症 について知ることができるシス テムがあれば良い
		介護者が一人の場合、当事者が座り込んで立てなく なった時、	急遽第三者の介助が必要に なった時に助けることのできる サービス
		介護者が一人の場合、話を聴いてくれる人がいない ため、	定期的な巡回があると良い
		一般的に認知症の知識、特にBPDSがなぜ起こるの か知らない人が多い。	基礎的な知識があれば、介護 者や地域の人でも当事者を避け ずに支援することができるので はないか。そのための知識を幼 稚園・小学校・中学校・高校と 教育の一環として取り入れてい く方法を考えたい
		自宅退院を支援していく中で、訪問・通所サービスが 充実することで地域に退院できるケースがある	
		主介護者の負担軽減をするため、	認知症カフェや家族会などの参 加型ではなく、専門職が自宅を 訪問する形での傾聴サービス があると良い
		自宅退院は地域住民の理解が得られないと難しい点 がある為	地域住民への啓発活動が大切 になる
		今でも認知症と診断されたことを近隣に伝えられない と話す家族がいる	「隣の人が認知症になっても変 わらない！」と言える地域づく りが大切。当事者の見守りや外 出の付添いをするボランティア がほしい
		当事者が活躍できるように地域のボランティアグルー プが作れないか	
R1	劇場	家族の要望もあり、外出レク(観劇)を行う 2名の利 用者様	タクシーを利用し観劇を実施す る。

テーマ「その他」

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
		今あるもので我慢して生活している	認知症になっても我慢せず、今までの生活が出来るような街
		改めて聞かれると自分の頭では考えられない	判断力が低下しても安心して暮らせる街
		買い物に行かれない	安心して買い物に行かれる街
		独り暮らしになったら不安	独居の認知症でも不安にならない町
R2.9.9	家の近く	駅までの道が分からない	外出時、地図を持つ。或いは、送迎サービスorタクシーを使う
R2.10.19	住宅型有料老人ホーム	家事はひととおりやっていました	洗濯物たたみなどを職員見守りのもと行ってもらっている
R2.9	家の中	認知症でもできることはたくさんある！	(家の中で)家事や趣味を続けられる
R2.9	〃	判らなくなったら、誰かに尋ねて納得すれば良い。	家の中でも外でも
R2.9.27	夜間居室にて	「何である人は、あんなに怒るんだろうね」	
R2.9.29	夜間居室にて	「娘は信用できない。ちっとも来てくれない」	コロナウイルスが流行していることを伝える。
R2.9.30	深夜フロアに来て	「最近、バカになっちゃったみたい」	
R2.10.2	深夜居室にて	「まだ起きるには早いな」	
R2.10.3	フロアにて	「誰かが私の荷物を部屋から持っていった」	もしかしたら自宅に送ったのかもしれないことを伝える。
R2.10.9	フロアにて	「私はここに勉強しに来てるの！」	
R2.10.9	フロアにて	「何色で(塗り絵を)塗ったらいいの？」	
		最近すぐ忘れちゃうの。書いておかなきゃね。	
		どうしたらいいの？	
		いつもお世話かけてごめんね。ありがとう。	
R2.9.16	荷物置き場	あの一この間来た時忘れ物なかった？	
R2.9.25	フロア	ご飯食べたから帰ろうと思って…	
R2.9.25	車内	あれ？ 私、時計忘れてこなかったかしら？	
R2.9.28	フロア	今日デイサービスあったかしら？	
R2.9.29	フロア	(他人の私物を見て)あれ、私のですよ！	
R2.9.29	同上	マッサージ機返してください！	
R2.9.29	席にて	(飲み物摂取後)私もらってないですよ！	
R2.9.30	フロア	最近何だか物忘れが酷くてね…	
R2.10.1	送迎	あと持っていく物なかったっけ？	
R2.10.2	車内	最近忘れっぽくなっちゃって	
R2.10.2	フロア	昨日デイサービス来たわよね？	

テーマ「その他」

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
R2.10.3	フロア	何時に帰るか忘れちゃったよ	
R2.10.2	フロア	「体操をしているよ」	
		「歩いてる」	
	排泄	トイレ大変だもの、助けてよ！ やってもらった方が楽！	自立を促してる方
	就寝前	私、ご飯食べた？	
	気遣いを感じたとき	ありがとね、必ずお礼するからね、助けてくれてありがと	
	ポリドントに浸しておけない	入れ歯を入れないと頭がおかしくなる	
	何気に思い出して	長男が何か言ってくる？(次男に世話になってる方)	
	レクリエーションが終わったところ	私、何でここに居るの？家に帰っちゃいけないの？	
	夕方静かになると	お父さんどうしてる？(2年前に亡くなっている)	
	1人でいると	お金払ってますか、泊まる場所ありますか	
	様子を伺うと	私、ここに来てよかった、嫌かな人だれもない	
	座ってる時	私、何をやればいいんですか？じっとしていいの？	
	他の方が楽しそうに喋っている時	もう！同じことばかり言ってる、うるさい！	
	入浴後	ありがと、ありがと、涙が出る…何もお礼出来なくて	
	座って本を読んで	母は生きてるの？お父さんどうしたんだろう、娘来るの。	
	寝る前	何だか心配なのよ、不安なのよ、眠れない	
	トイレ誘導のとき	気の毒だわあ～迷惑かけてすみません	
	何気に	ほんと分からんようになったわーボケたわあー	
	いつ帰るんだろう	私、死ぬまでここに居ていいのね	
R2.9.20	フロア内、16:00	体の小さな利用者様に指をさし、「その子供がおかしい」とおっしゃられる	「Sさんより歳上の方よ」
R2.9.20	フロア内、18:15	「タクシーは自由民主党の近くに止まってくれますか」と、前ぶれもなくおっしゃる	「自由民主党はどこですか？」
R2.9.20	食事中、18:00	「これかしら？ここでいいのかしら？どれだろう？」	指さしするとそこを召し上げる
R2.9.20	トイレ前にて、19:00	「ここで待っていれば、電話かかってくるんだね」	「そこはトイレですよ」
R2.9.21	居室ベッドにて、4:00	「かんいちさ～ん、会いたいよ～」	
R2.9.21	フロアの他の利用者さんを見て	「あら、変なのがいるわよ」	
R2.9.22	朝食後	「何か食べる物ないの？」	
R2.9.22	フロアにて女性の利用者様を見て	「彼はなんなの？」「ややこしくなったね、彼は女か」	
R2.9.22	フロアにて職員に	「あなたを私の部屋に案内するので来てください」	
	”	「私は家がありますので家内の家に帰ると、ここがあきますので、そのあとはあなたが使ってください」	
R2.9.22	居室にて職員に	「そのカーテンはきちんとしまりますから」	
	”	「ここは物入れがあるのでここには細かな物を入れることができますので」	
	食事中に	「お姉ちゃ～ん、こっちょ、ここに来て～」	

テーマ「その他」

いつ(年月日)	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
R2.9.23	夕方、フロアにて	「誰か来るかもしれないから落ち着かない」	
	夜勤者に	「ここ、あなたの部屋じゃないですよ、出てかないといけないから」と心配される	
R2.9.23	他利用者を見て	「変てこなじい〜」	
R2.9.23	夕食後	「さあ、どうやって帰ろうかな」	
R2.9.1	自宅	①色々なことが思い出せない	今はヘルパー導入。生活歴にあわせて本人の能力を引き出す予定。
		②①の事で頭の中がグジャグジャ	
		③こんな自分 あ〜いやになる	
		④疲れるのよ〜疲れる〜	
		インターネットが使えない	
		知り合いがどんどんいなくなってしまう	
		子供が来なくなった	
		出前が取れない。店もなくなったし、やり方がわからない	
		出掛けたいが、一人では行けない	
R2.6.20	施設内浴室	ゆっくりと入浴された後「僕はどうしてここで風呂に入ってるの？」	
R2.7.7	施設内居室	「私がここに居るのは息子がだまされているから」	
R2.7.11	施設内フロア	「私はいつからここで生活しているの？」(デイサービスの日)	
R2.7.11	施設内居室	「お願いします！助けて！」と呼び続ける	
R2.7.27	施設家族からの電話	通話が終えて「楽しそうでしたね」と言うと「えっなんのこと」とわからなくなる	
R2.7.28	施設内夜間	居室のカーテン・窓を開け、外に棒を落としたのよと説明する	
R2.7.15	自宅居室	ご自身が若い時の話を何度もする	
R2.7.25	自宅居室	口腔ケア後すぐに「口やって」とおっしゃる	
R2.7.29	自宅居室	そうじた所をお忘れ。直後にやってないと	
R2.8.5	自宅居室	入院してる奥様が洗脳されて帰って来る	
R2.8.11	自宅居室	お一人なのにご自分の母親がいる・・と話される	
R2.8.11	自宅居室	何が何だかわからないと仰る	
一年じゅう毎回	自宅居室	外は凍っているから気を付けてと仰る	
R2.8.28	当事者の集まる会にて	急にわからなくなるんだよ。不思議な感じ。(それを理解してほしい)	
R2.8.28	当事者の集まる会にて	なってみないとわからないよ。なった人は苦勞している。	
R2.7.24	当事者の集まる会にて	どれ？と聞かれてもわからない。これ、これと聞いてくれないと。	
R2.6.28	電話によるアポどりにて	頭の中が真っ白になる。気が付いたらわからなくなるからいちいち聞き直すと思う。ごめんなさいね。(詳細にメモをとりながら)	

3 今後に向けて

「認知症にやさしいまち」を実現するために、「あさおオレンジプロジェクト」で本人にとって暮らしやすいまちについて考えるきっかけになるよう、認知症の人の声の聴取や本人が体験談を語る講演会の開催等に取り組んできました。

今回事業所における具体的な取組内容を共有し、今後につながる研修会となりました。

本報告書に掲載された取組は当日欠席だった事業所でも既に取り組まれているかもしれませんが、本報告書に目を通してもらう事で今後活かして頂ければ幸と思います。

また、掲載以外の取組を实践されている事業所があれば麻生区役所地域支援課に是非内容をお知らせ下さい。

今回の研修会で出された取組や意見を基に、今後もあさおオレンジプロジェクトで引き続き「認知症にやさしいまち」を実現するための検討を進めていきます。

参考資料

(認知症の声)

※市ホームページに掲載しておりますので、
リーフレットやポスター作製にご活用下さい。

<認知症に関する情報>

認知症施策推進大綱 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000076236_00002.html

本人にとってのよりよい暮らしガイド 厚生労働省ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/content/000521131.pdf>

「麻生区の福祉・高齢者・障害者に関する情報」川崎市ホームページ

(本報告書も掲載されています)

<https://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-5-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

人とのつながり

声かけしやすい
地域

困ったときに
(徘徊など) 近所の
人が助けてくれる

助け合って
暮らせる町になって
ほしい

近所の人とお互い
顔の見える地域

誰かが様子を見に
来てくれる。頼れる
人がいる

ボランティアが
いっぱいいる町に
なってほしい



認知症の人の声 「暮らしやすいまち」



あるとよいもの

歩けるところに
図書館がほしい

認知症でも働ける
場所がある

認知症の人が利用
しやすいお店
(スーパー) がある

いつでも行けて、
お茶や話ができる場所

お店屋さんが来て
くれると助かります

近くに温泉が
あると良い

気軽に通うことの
できるダンスや体操
等の教室

道や交通

車がびゅんびゅん
走っていない方が
良い

歩くエスカレーター
(歩道) があれば良い

コミュニティバス
など動いている地域

信号がちゃんと
ある

昔に比べると道路の段差
が少なくなったが、
もっと少なくしてほしい

歩道と車道が
はっきりしている

買物が困難、バスが
あると便利

仕事

妻に世話になって
いるばかりじゃあ、
男としての面子が
立たないよね...
働きたいよ。

出来る事なら
何でも
手伝うよ

私、だめ人間に
なるから、手伝うから
言って下さい

働きたいけど
力がない。

ボランティア
やりたいの、
何でもやらせて。



趣味

踊りを教えたい
(日舞の師範)

私、編み物が
好きなの！
皆さんに
編んであげたい

“中秋の名月”の
詩を書いたから
見てもらいたい。

プロの歌手の歌
を生で聞きたい

かつての趣味
(書道、茶道)
もう一度やって
みたい！

お彼岸だから
“おはぎ”が食べたい。
“おはぎ”はよく
作っていたから、
自分で作りたい。

認知症の人の声 「やりたい事」

家族や友人

淋しいし、不安
だから話を聞いて
もらいたい。

今日は娘の誕生日
だから電話したい。

皆とこういう風に
話すのがいいんだよ。

話す場があれば
いいんだよ、
どこでもね！

60~70代の異性
の話し相手が
ほしい

少し早く認知症に
なった先輩から話
を聞きたい

食べる事 着る事

キレイな洋服
を着たい

お酒を飲み
に行けるように
してほしい



喫茶店で音楽を
聴きながらお茶を
飲みたい

自己研鑽

字や数字を書いている

TVを観て学んでいる

漢字の書き取りをしている

新聞を読んでいる
⇒ 世間から切り離されないように

食生活に気をつけている
野菜を多く摂る

怪我をしないように気をつけている

散歩している

外出するように気をつけて歩くようにしている

人との関わり

他人まかせず、できることは自分でする

家の中にこもらず外に出かけ友人に会う

地域の人とつながる工夫

仕事（職員の手伝い）をするようにしている

週に2～3回離れて住む家族に連絡をして近況報告する



認知症の人の声 「日常生活の工夫」



忘れないように

予定はカレンダーに書く。新聞や電波時計で日付を確認する

取りやすいところ（高さ）に物を置いている

物がどこに入れたか分からなくならない様に、引き出しに見出しシールを貼っている。

必要なものは起きてすぐ見える様にしている（TVのリモコン、エアコンのリモコン、薬カレンダー、etc...）

認知症当事者が散歩（一人での）から戻ってきた時、自分の家がわかる様に、（主に夜間）玄関ドアに目印としてピンク色の造花をつけました。これ以来、迷う事なく自分の部屋に戻れる様になりました。

その日あった出来事や思い出した事を日誌に書き留めている。

ガスではなくIH

発行 令和3年2月

問い合わせ先 麻生区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)

地域支援課 地域サポート係

電話 044-965-5160

FAX 044-965-5169